



伊勢で友人と写真を撮る小津
(左から2番目)
昭和37年(1962)

日本を代表する映画監督小津安二郎(1903-1963)が生誕120年を迎えました。サイレント映画の時代から監督として活躍し、『晩春』(1949)『麦秋』(1951)『東京物語』(1953)といった傑作を撮影、「小津調」とも称される厳格な撮影技法で独自の世界を作りあげ、その作品は現在の監督にも影響を与えています。小津監督は東京深川に生まれ、9歳のときに父の故郷であった松阪に移住し、青春時代の10年間を過ごしました。アメリカ映画に夢中になり、映画界へ進むことを決心したのもこの時期だと言われています。本企画展では館藏品を中心に、小津監督のルーツである松阪商人「小津家」の紹介から、学生時代、監督時代とわたる松阪ならではの資料を展示し、小津監督のルーツと故郷への思いを探っていきます。



松竹ニュース「お早よう」
昭和34年(1959)



小津デザインのスタンプ
大正10年(1921)頃

～小津安二郎松阪検定～

小津安二郎が三重で過ごした頃のエピソードを中心に出题します。

日時：令和6年1月20日(土)

試験 11:00～11:55(受付10:30～)

解説・表彰式 14:00～15:00

会場：松阪市産業振興センター 2階 人材育成講座室

定員：50名 検定料：500円

申込フォームもしくは電話(文化課 0598-53-4397)で受け付けます。定員になり次第、締切り。



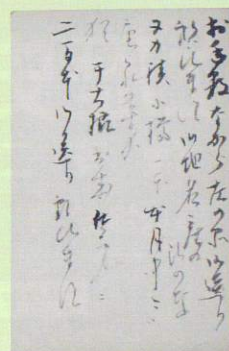
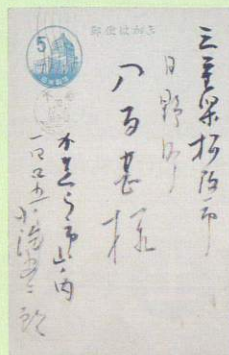
▲申込フォーム



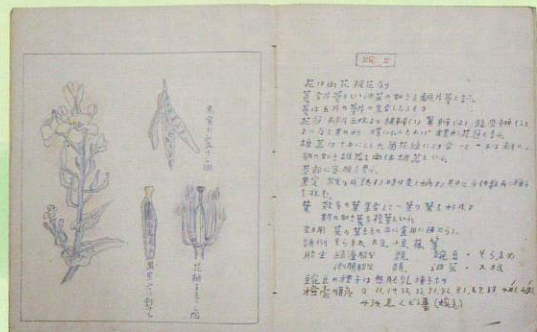
▲開催概要



松阪近代劇場ニュース『小早川家の秋』昭和36年(1961)



松阪の八百屋あての葉書
昭和32年(1957)



宇治山田中学時代の博物ノート 大正5年(1916)



松阪市立歴史民俗資料館
(2階 小津安二郎松阪記念館)

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539
TEL&FAX 0598-23-2381